

栃高体連柔 4 号
令和 2 (2020) 年 9 月 26 日

加盟各校柔道部顧問 様

栃高体連柔道専門部
部 長 軽 部 幸 治

栃木県高等学校新人柔道大会の開催について

初秋の候、各先生方におかれまして御健勝のことと存じます。日頃から、柔道部員の指導をはじめとして、本専門部の活動に御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、令和 2 年度栃木県高等学校新人柔道大会の大会要項を、別紙の通り、送付いたします。未だ、新型コロナウイルス感染症が収束せず、大会の開催は険しい状況にあります。しかしながら、日頃から、柔道に親しみ、熱心に練習を行っている生徒たちのことを思えば、活躍の場を作ってあげたい心境にあり、大会開催にあたっては、先生方の御協力のもと、関係機関による「ガイドライン」に則り、感染防止対策を十分に行った上で、大会運営ができればと考えております。

つきましては、現時点において、大会開催に向け、大会準備を進めるとともに、参加申込みを受け付けます。今後の動向によっては、大会内容の変更や大会中止もある得ることを御承知くださいますようお願いいたします。

なお、大会抽選等を含めて 10 月 30 日 (金) 13:30 から、顧問全体会議を栃木県武道館会議室 1 において開催します。感染予防対策・(公財) 全柔連登録・昇段について等、重要な連絡がございますので、今大会参加の有無にかかわらず、必ず、各校顧問の先生は御出席くださいますようお願いいたします。会議日までに、大会内容等の変更があった場合は、栃高体連柔道専門部各支部委員長を通じての連絡、および栃高体連柔道専門部 HP (<http://tochigikoutairenjudo.info/index.html>) にて速やかに公表いたします。

栃木県高等学校体育連盟
柔道専門部 委員長 吉澤貴志
〒321-0973 栃木県宇都宮市岩曾町 606 番地
栃木県立宇都宮北高等学校内
TEL 028-663-1311
FAX 028-660-4726

令和2(2020)年度栃木県高等学校新人柔道大会の開催について

標記大会を下記のとおり開催することといたしました。
つきましては、貴校関係職員(部活動指導員等)・生徒の参加について特段の御配慮をお願いいたします。

記

- 1 主 催 栃木県高等学校体育連盟 栃木県教育委員会
- 2 共 催 栃木県柔道連盟
- 3 主 管 栃木県高等学校体育連盟柔道専門部
- 4 期 日 令和2年11月7日(土) 開場8:00 男女団体試合 審判監督会議概ね10:10
令和2年11月8日(日) 開場8:00 男女個人試合 審判監督会議9:30
- 5 会 場 栃木県武道館(宇都宮市西川田町4-1-1 TEL028-684-2200)
- 6 競技規定及び方法
 - (1) 試合は国際柔道試合審判規定(2017-2020)によって行う。
 - (2) 団体試合の男子はトーナメント方式、女子はリーグ方式またはトーナメント方式とする。
個人試合は男女ともトーナメント方式とする。
 - (3) 試合時間について
 - ①男子5人制団体試合・個人試合ともに準々決勝より4分、その他は3分とする。
 - ②女子団体試合・個人試合ともに準決勝より4分、その他は3分とする。ただし、団体試合がリーグ方式の場合はすべて3分とする。
 - ③男子3人制団体試合はすべて3分とする。
 - ④延長戦(ゴールデンスコア)は時間制限を設けない。
 - (4) 優勢勝ちの判定基準について
 - ①団体試合は「技あり」または「僅差」以上とする。チームの内容が同等の場合は、代表選手を任意に選出して代表戦を行う。代表戦で得点差がない場合は、延長戦(ゴールデンスコア)により勝敗を決する。延長戦における優勢勝ちの判定基準は「技あり」以上もしくは指導差が出た時点で勝敗を決する。
※「僅差」は指導差2とする。
※「技の内容」と「指導」の重みは【一本勝ち=反則勝ち>技あり>僅差】の順とする。
※女子リーグ方式の場合、代表戦は行わない。
 - ②個人試合は「技あり」または「僅差」以上とする。技による得点が同等の場合は延長戦(ゴールデンスコア)を行い、「技あり」以上または指導差が出た時点で勝敗を決する。
※「僅差」は指導差2とする。
 - (5) 団体試合における勝敗の決定について
 - トーナメント方式
 - ①勝ち数の多いチームを勝ちとする。
 - ②①で同等の場合は、「一本」勝ちの多いチームを勝ちとする。※一本勝ち=反則勝ち
 - ③②で同等の場合は、「技あり」による勝ちの多いチームを勝ちとする。
 - ④③で同等の場合は代表戦を行う。
 - リーグ方式
 - ①チームとしての勝ち数の多いチームを勝ちとする。
 - ②チームとしての負け数の少ないチームを勝ちとする。
 - ③①②で同等の場合は、「一本」勝ちの多いチームを勝ちとする。※一本勝ち=反則勝ち
 - ④③で同等の場合は、「技あり」による勝ちの多いチームを勝ちとする。
 - ⑤④で同等の場合は、「僅差」による勝ちの多いチームを勝ちとする。
 - ⑥⑤で同等の場合は代表戦を行う。
 - (6) 団体試合
 - ①男子5人戦 選手7名(3人以上で出場可)で、試合毎に5名による試合。(合同チーム不可)
 - ②男子3人戦 選手4名(2人以上で出場可)で、試合毎に3名による試合。(合同チーム可)
 - ③女子 選手4名(2人以上で出場可)で、試合毎に3名による試合。(合同チーム可)
 - (7) 個人試合 男女体重別7階級とする。(無段者の部は実施しない)
- 7 参加資格及び制限
 - (1) 選手は学校教育法第1条に規定する高等学校および中等教育学校・高等専門学校に在籍する生徒。
 - (2) 栃木県高等学校体育連盟に加盟している高等学校生徒および中等教育学校・高等専門学校で、(公財)全日本柔道連盟に2020年度登録が完成した者。
 - (3) 平成14年4月2日以降に生まれた者で、令和2年度4月以降、当該校第2学年以下の生徒。ただし定時制・通信制の生徒は第3学年以下とする。同一学年での出場は1回限りとする。
 - (4) 選手は団体・個人試合の出場を兼ねてよい。また、団体試合と個人試合を一連の試合としない。
 - (5) 転校後、6ヶ月未満の者は参加を認めない。(外国人留学生もこれに順ずる)ただし、一家転住等やむを得ない場合は、各都道府県高等学校体育連盟会長の許可があればこの限りではない。
 - (6) 外国人留学生は卒業を目的として入学していること(短期留学は認めない)。
 - (7) 団体試合について
 - ①男女とも1校1チームとし、全・定・通の混成は認めない。
 - ②男子団体5人戦のチームの編成は、監督1名、選手7名の計8名、男子団体3人戦のチーム編成は監督1名、選手4名の計5名とし、5人戦と3人戦のいずれかの出場を選択し、重複参加は不可。
 - ③女子チームの編成は、監督1名、選手3名、補欠1名の計5名とする。
 - ④選手の配列及び体重の制限はない。
 - ⑤申し込み選手に事故が起き、選手を変更する場合は大会当日の審判・監督会議までに、学校長の証

- 明書を添えて申し出たもののみ認める。ただし、変更選手は2名までとする。
- ⑥シードはR元(2019)年度栃木県高校新人大会・全国高校柔道選手権栃木大会の結果を反映させる。
- ⑦外国人留学生のチーム人員は1名以内とする。
- ⑧合同チームでの参加を推奨する。(男子団体3人戦・女子団体)
- ⑨順位戦を行う。(男子5人戦8位まで・トーナメント戦の場合の女子団体4位まで)
- (8) 個人試合について
- ①男子個人試合(7階級)
- 男子の体重区分は次のとおりとする。
- | | |
|-----------------------|-------------------------|
| 60kg級→60kg以下の者 | 66kg級→60kgを超え66kg以下の者 |
| 73kg級→66kgを超え73kg以下の者 | 81kg級→73kgを超え81kg以下の者 |
| 90kg級→81kgを超え90kg以下の者 | 100kg級→90kgを超え100kg以下の者 |
| 100kg超級→100kgを超える者 | |
- ※今年度の大会に限り、各階級の出場人数制限は設けない。各階級とも直近大会(60～81は選手権予選、90～100超は新人戦)においてベスト4の選手をシードする。
- ②女子個人試合(7階級)
- 女子の体重区分は次のとおりとする。
- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 48kg級→48kg以下の者 | 52kg級→48kgを超え52kg以下の者 |
| 57kg級→52kgを超え57kg以下の者 | 63kg級→57kgを超え63kg以下の者 |
| 70kg級→63kgを超え70kg以下の者 | 78kg級→70kgを超え78kg以下の者 |
| 78kg超級→78kgを超える者 | 無段者→無段者(体重制限なし) |
- ※参加人数の制限をしない。
各階級とも直近大会(48～63は選手権予選、70～78超は新人戦)においてベスト4の選手をシードする。
- ③選手の変更は組合せ抽選の前までとし、様式は団体試合に準ずる。
- ④外国人留学生の参加人数の制限は設けない。

- 8 計 量 (1) 日時: 11月7日(土) 8:40～9:40(会場設営の関係上、変更があるので放送に注意する)
- (2) 回数: 2回まで認める。2回目でクリアしない場合は失格とする。
※個人試合のみ出場校の選手は11月8日(日) 8:30～9:20までの計量を可とする。
- (3) 予備計量: 11月7日(土) 概ね8:00～8:40 11月8日(日) 概ね8:00～8:30
- (4) 計量時の服装については、原則として男子は短パン(またはスパッツ)のみ、女子は上がTシャツで下が短パン(またはスパッツ)とする。

- 9 参加申込 (1) 申込み方法 ※以下の①・②の手順を両方必ず行うこと。
- ①専門部のホームページより申し込みファイル(エクセル形式)をダウンロードし、データ入力、プリントアウトし、校長・監督印を捺した申込書を郵送。(吉澤委員長宛)
※栃木県柔道連盟→栃木県高等学校体育連盟柔道専門部 → 大会要項・申込み
※HPアドレス <http://tochigikoutairenjudo.info/index.html>
※個人各階級の申込み人数が4名を超えた場合、No.2シートも使用する。
- ②データを入力した申し込みファイル(EXCEL形式)を電子メールに添付し送信。(樋山委員長宛)
- ③FAXによる申込は不可。大会不参加の場合のみ、所定の用紙に記入しFAXにて回答する。
- (2) 申 込 先 ①〒321-0973 宇都宮市岩曾町606 県立宇都宮北高内 吉澤 貴志 宛て 郵送
②電子データ 県立烏山高内 樋山 賢一宛て 送信 hiyama-k04@tochigi-edu.ed.jp
- (3) 申込締切 令和2(2020)年10月26日(月) 必着とする。
※以後の申込は一切受付しないので、余裕をもって申込むこと。
- (4) その他 個人情報の取り扱いについて、主催者は個人情報の重要性を認識し、法令および個人情報保護法に基づき取り扱い、本大会活動にのみ利用するものとし、これ以外の目的に利用しない

10 参加料 2,000円 ※大会当日納入、男女出場する学校は4,000円

11 組合せ 10月30日(金) 個人試合は専門部による責任抽選、団体試合は顧問会議における抽選で決定する。

- 12 安全管理 (1) 大会期間中における安全対策及び緊急時の対応については、栃高体連の「危機管理マニュアル」に則り、適切に対応する。
- (2) 新型コロナウイルス感染拡大防止に関しては、栃高体連「新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドライン」に則り、感染防止対策を講じる。

- 13 その他 (1) 専門委員会 令和2年10月30日(金) 9:30～ 栃木県武道館第1会議室
全体顧問会議 令和2年10月30日(金) 13:30～ 栃木県武道館第1会議室
※顧問の先生方は、大事な連絡等がありますので、全体顧問会議には必ず御出席ください。
- (2) (公財)全日本柔道連盟に未登録の学校は速やかに会員登録システムにより登録を行ってください。
- (3) 令和2年度全国高体連柔道部研究調査報告書(代金1,500円)の購入を、受付の際に参加料とあわせて納入願います。大会当日、加盟登録校は必ず、報告書の持ち帰りをお願いします。
- (4) 脳震盪対応について、選手および指導者は下記事項を遵守すること。
①大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け出場の許可を得ること。
②大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。至急、専門医(脳神経外科)の精査を受けること。
③練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け許可を得ること。
④当該選手の指導者は、大会事務局および(公財)全日本柔道連盟に対し、書面により事故報告書を提出すること。
- (5) 皮膚真菌症(トングランス感染症)については、発症の有無を各所属の責任において必ず確認し、感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において、的確な治療を行うこと。もし選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場ができない場合もある。
- (6) 全日本柔道連盟柔道衣規格に合格した柔道衣(赤ラベル)を着用すること。帯については青ラベルでもよい。また、女子の帯は白線の入っているものでもよい。
- (7) ゼッケン使用のこと。
- (8) 大会参加にあたっては、本人・保護者の同意を得ること。
- (9) 8:00 開場後、直ちに試合会場の準備を行うので、御協力願います。

栃高体連柔道専門部 委員長 吉澤 貴志 栃木県宇都宮北高等学校 TEL 028-663-1311
